回復期リハビリテーション病棟の実績

Ⅰ.直近3ヶ月の退院患者

（算出期間：2026年8月～10月）

退院患者数		72名
回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態又は手術後２か月以内（再掲）	42名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後等２か月以内（再掲）	23名
	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後２か月以内（再掲）	2名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後１か月以内（再掲）	0名
	股関節又は膝関節の置換術後１か月以内（再掲）	2名
	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態（再掲）	3名
	上記に準ずるもの（再掲）	0名

Ⅱ.実績指数

（算出期間：2026年5月～10月）

算定根拠の項目	数値
① 6か月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	151名
②①の内、実績指数の計算対象とした患者数	127名
③②の患者の退院時FIM得点(運動項目)から入棟時FIM得点(運動項目)を控除した総和	3,592
④②の各患者の入棟から退棟までの日数を、患者毎の回復期リハビリテーション病棟入院料の算定上限日数で除したものの総和	54.5
⑤実績指数　強化体制加算基準値48	65.91